

一人の子供を受け入れる者

マルコによる福音 9:30-37

(そのとき、イエスと弟子たちは) ガリラヤを通過して行った。しかし、イエスは人に気づかれるのを好まなかった。それは弟子たちに、「人の子は、人々の手に引き渡され、殺される。殺されて三日の後に復活する」と言っておられたからである。弟子たちはこの言葉が分からなかったが、怖くて尋ねられなかった。一行はカファルナウムに来た。家に着いてから、イエスは弟子たちに、「途中で何を議論していたのか」とお尋ねになった。彼らは黙っていた。途中でだれがいちばん偉いかと議論し合っていたからである。イエスが座り、十二人を呼び寄せて言われた。「いちばん先になりたい者は、すべての人の後になり、すべての人に仕える者になりなさい。」そして、一人の子供の手を取って彼らの真ん中に立たせ、抱き上げて言われた。「わたしの名のためにこのような子供の一人を受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。わたしを受け入れる者は、わたしではなくて、わたしをお遣わしになった方を受け入れるのである。」

説教

イエスは人に気づかれるのを好まなかった 9:30

だれがいちばん偉いか 9:34

子供の一人を受け入れる者 9:37

朗読箇所から三つ書き出してみました。

イエスはご自身の死と復活の予告をされましたが、死んで復活するメシアのほんとうの意味を人（世間）が理解できないことを知っていたから「気づかれる」ことを好まない、つまり、誤解を避けたいという意思があったようです。まさかコソコソと故郷ガリラヤを通過していったわけではないでしょう。そんな折、イエスに随行する弟子たちは誰が一番か、ほんとうはだれが偉いのかと仲間内で言い合います。

この弟子たちの議論にイエスはコメントします。

いちばん先になりたい者は、すべての人の後になり、すべての人に仕える者になりなさい。9:35

ふつうが一番になることが良いことで、ビリになることは良くないことです。イエスは常識とは逆のことを言い、弟子たちを宗教的に諭します。

ここでとつぜんマルコ福音書は子どもを登場させます。イエスは子どもを抱き上げて「子供の一人を受け入れる者」がよいことだといいます。十字架の意味、受難のメシアを理解するポイントのひとつがこの「子どもの教え」にあります。

イエスがメシアとなるためには十字架にはりつけになることが必要でした。イエスは受難予告を幾度となくおこないます。でも世間には理解されない。弟子からもです。だから「人に気づかれる」ことを嫌っています。受難のメシア、それは常識では理解できない事柄だからです。

その一方で「こどもは宝」これは常識です。世界中どこでもこどもを宝物のように大切にします。その意味では「子供の一人を受け入れる」ことは誰にでも理解できる常識です。

イエスは十字架の意味をこどもの教えに託しています。それは一般的に子どもを大切にすることがイエスを受け入れ、遣わした方＝神を受け入れることになるという常識に基づいてた三段論法でしょうか？

わたしの名のためにこのような子供の一人を受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。9:37

「イエスの名」のために「このような」子どもを受け入れる、ここで言っている「イエスの名」とは受難予告されているイエス＝死と復活のイエスです。

「このような」と言われている子どもとはきょうの福音のなかで具体的には説明されていません。10歳ぐらいの子なのか、産まれたばかりの赤ちゃんなのかわかりません。

ある時イエスは「自分の十字架」を背負いなさいといました。「このような」と言われている子どもとはある特定の子どもではなく、わたしたち一人ひとりに神さまが割り当てられている「子ども」と考えてみましょう。自分の十字架をヒントにして、同じように類推して自分の子どもでも正解でしょう。子どもの意味を拡大して弱き者、小さき者と考えることもできるとおもいます。

わたしたち一人ひとりがイエスの名のために受け入れる子どもに思いを巡らし、受難のメシアを受け入れることができますように。

「参考」

並行箇所を記します。マルコにはない「偉い」ということばがマタイ・ルカにはそれぞれはいつています。弟子たちの議論解答になっているようです。

「わたしの名のためにこのような子供の一人を受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。わたしを受け入れる者は、わたしではなくて、わたしをお遣わしになった方を受け入れるのである。」 マルコ 9:37

「はっきり言っておく。心を入れ替えて子供のようにならなければ、決して天の国に入ることはできない。自分を低くして、この子供のようになる人が、天の国でいちばん偉いのだ。わたしの名のためにこのような一人の子供を受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。」 マタイ 18:3-5

「わたしの名のためにこの子供を受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。わたしを受け入れる者は、わたしをお遣わしになった方を受け入れるのである。あなたがた皆の中で最も小さい者こそ、最も偉い者である。」 ルカ 9:48
